

1. 利用企業の概要

● 医療法人白井会

- ・所在地 : 高知県安芸郡田野町1414-1
- ・従業員数 : 266人
- ・事業内容 : 医療・介護

2. 支援の概要

把握した課題と要望

- ・医療・介護業界に加えて、地域の特殊性があるため、訓練前に十分な打ち合わせを行い、訓練場所や訓練日程等を決定したい。
- ・日々現場で懸命に取り組んでいる職員の頑張りを組織として有効に機能するために必要な自律性・相互理解・チームワークといったテーマの講習を希望。

利用した訓練・訓練概要

●利用した訓練

- ・訓練コース名 : 「チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割」
- ・訓練実施時期 : 令和4年6月
- ・訓練実施機関 : パナソニックエレクトリックワークス創研株式会社
- ・受講者数 : 18名

●訓練概要 「チーム力の強化と中堅・ベテラン従業員の役割」

【ねらい】 中堅・ベテラン従業員が求められる今後の役割や能力を確認し、職場の課題に対してこれまでの経験に基づき後輩従業員と共同で解決策を得るための知識と技能を習得する。

- 【項目】
- ・職場の課題
 - ・求められる役割と能力
 - ・アサーティブの基本
 - ・アサーティブな関係構築

訓練を利用した成果

- ・アサーティブは意識して使っていこうと思うし、職員研修にも役立てたい。
- ・生産性の向上や職場環境にはコミュニケーション技術の向上が重要と改めて思った。

3. 利用者の声

事業主の声

【訓練を利用した経緯・動機】

「VUCAの現代」で業界を取り巻く外部環境が厳しさを増していく中で、地域の医療・介護の充実、発展を担う法人のミッション達成、継続するためには組織力強化が必要と感じていました。

組織力強化のためには限られた資源である医療・介護従事者に最大限の力を発揮してもらおうという点が重要と考えました。日々現場で懸命に取り組んでいる職員の頑張りを組織として有効に機能するために必要な自律性・相互理解・チームワークといったテーマを定め生産性向上支援訓練を利用することに決めました。



【職場での活用・訓練を利用した感想】

管理職18名を4チームに分けて臨んだ参加型の研修では、職場の課題や求められる能力をグループワークでディスカッションすることで、共通認識や相互理解を高めることにつながったと感じます。

研修のメインとなった「相手の主張を受容し、場面に合わせて自分の主張も伝える」アサーティブコミュニケーションでは、ロールプレイで実践することにより個々が客観的に課題を感じ、自身を振り返る事ができました。

訓練を通じて自律性や相互理解といったテーマに対して、管理職が気づきを得る貴重な機会となりました。

今回はちょっと豪華なお弁当付き研修という形式をとりましたが、日常業務から離れて集中的に学ぶこのような訓練を引き続き実施していきたいと考えます。

受講者の声

【訓練が役に立った理由】

- それはなぜ？と考える事。第三者の立場からみて傾聴してもらえたから。とにかく会話する時間が必要（大切）だと思う。
- アサーティブは意識して使っていこうと思うし、職員研修にも役立てたい。相手を変えようとしていることが多いが結局は自分の考え方を変えて関わる事が大切だと気づきました。
- コミュニケーションの回数や内容
- 生産性の向上や職場環境にはコミュニケーション技術の向上が重要と改めて思った。
- 傾聴することが生産性の向上につながっていくと思った。
- 部下への関わり方、指導の仕方。
- 素直に伝える。



【感想】

- とても楽しく勉強になりました。自分の勉強のためにもこのような研修に継続的に参加したいです。
- 職場の他部署スタッフとの研修は少ないが建設的な話ことができました。明日から業務に活かしますありがとうございました。
- 聞くではなく聴ける上司になれるよう明日からがんばろうと思います。
- 方向性が間違っておらず、アプローチ方法が具体的になった点が良かった。
- 月に一度法人で実施する部署長ディスカッションの中で継続してテーマとして取組み活用していきたい。